

## 大学図書館による展示

## SALA 加盟図書館所蔵資料展示会

## ■跡見学園女子大学

＜貴重コレクションを学生と図書館でアピールする！～百人一首と競技かるた愛好会～＞

跡見学園女子大学図書館は所蔵する 3,000 点におよぶ百人一首コレクションを、学生と一緒に競技かるたという形でパフォーマンスし、アピールしました。小さいお子さんからお年寄りまで、一緒に楽しむ中で百人一首の楽しさを共有しました。

跡見学園女子大学かるた愛好会は、図書館で所蔵する貴重資料百人一首を学生の間に浸透させようと、平成 26 年に図書館ボランティアの中にかるた部会として設立、その後、図書館や学内の和室で日々競技かるた練習を行い、オープンキャンパスや学内行事には競技かるたを披露しています。

当日は、講演をされた作家の柚木麻子さんもブースを訪ねていただき、一緒にかるた取りを楽しんでいただきました。

その他にも跡見学園女子大学が所蔵する資料を紹介したパネル 10 点を展示。百人一首イコールかるた、というイメージを変える様々な百人一首をご紹介します。



## ■国立女性教育会館

＜図書パッケージ貸出 ～男女共同参画社会形成のために～＞

国立女性教育会館 (NVEC) は男女共同参画の推進機関です。1977 年に開館し、今年で 40 周年を迎えます。NVEC 内にある「女性教育情報センター (図書館)」は男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。当館では全国の女性関連施設、公共図書館、大学、高校、企業等の機関・団体向けに図書を 50 冊、100 冊とテーマ別に貸し出す「パッケージ貸出サービス」を提供しています。

今回の展示ではサービスの内容を紹介すると共に、所蔵資料を一部展示いたしました。ドラマ「わろてんか」で話題の吉本せいさんに関する図書や、男女共同参画に関連する絵本などが特に熱心に読まれていました。

また、所蔵資料をテーマ別に紹介する小冊子「本、あり図。」の総集編である特別号の配布も行いこちらも好評でした。

## 【展示資料】

『吉本せいの生涯』宝島社 2017

『タンタンタンゴはパパふたり』ポット出版 2008

『世界のおばあちゃん料理』河出書房新社 2016

『990 円のジーンズがつくられるのはなぜ?』合同出版 2016

他



## ■埼玉医科大学

＜埼玉医科大学とチベット＞

埼玉医科大学の創立者である丸木清美は、1965～70年にチベット難民の子どもたち計21人を毛呂山町に招き、生活や教育の支援を行いました。その縁は今日まで続いています。

今回は、そんな埼玉医科大学とチベットの関係を知っていただきたいと思い、写真やチベットに関する図書を展示しました。

会場では、丸木清美が支援した子どもたちを知っている方もご覧くださり、「懐かしい」という声をいただきました。

また、「このような展示は必要だ」、「このような関係があるとは知らなかった」という声や、チベットの布やヒマラヤの「青いケシの花」の写真に関心を持ってくださる方もいらっしゃいました。展示図書では、実はチベット民話が話の元となっている『シュナの旅』（宮崎駿著）に人気が集まりました。

今回展示をしたことで、あまりなじみのないチベットに気づく、ささやかなきっかけになったのではないかと思います。

展示内容については、埼玉医科大学附属図書館ホームページ内の「展示の記録」に掲載しています。是非ご覧ください。



## ■埼玉大学

＜大いなるかな、美しいかな 官立浦和高等学校＞

埼玉大学の前身の一つである官立浦和高等学校の同窓会が平成21年3月に幕を閉じましたが、その貴重な資料は埼玉大学に寄贈していただき、現在は当館に「官立浦和高等学校記念資料室」を開室して常設展示しています。

その貴重な資料から、当時の学生たちが必ず読んでいた図書や、官立浦和高等学校史、全国の旧制高等学校の紹介図書、当時の校舎や周辺の風景写真を展示しました。

また、官立浦和高等学校から卒業して特に顕著に活躍した(している)主な卒業生の方々の紹介、進学適性検査成績表、卒業生の進学した大学学部別表を展示することで、当時の在学生の成績が優秀であったこと、大学への進学率が優れていたことに加えて、主に優秀な卒業生を紹介しました。

### 【主な展示図書】

『善の研究』、『合本 三太郎の日記』、『哲学以前』、『愛と認識との出発』、『論理学』、『浦和高等学校』、『瑤沙原誌』、『瑤沙原誌2』、『旧制高等学校の青春』



## 大学図書館による展示

## ■芝浦工業大学

<都市計画研究会によるまちづくり展>

芝浦工業大学環境システム学科都市計画研究室では、作山教授の下で学生が主体となり魅力あるまちづくりを研究しています。今回の展示では、都市計画研究室の学生が作成した東大宮駅前再生計画模型やパネル、まちづくり関連の図書館資料を展示しました。

大宮キャンパスに通う学生の多くが最寄り駅として東大宮駅を利用しており、利用者としての視点からも魅力ある駅にするためにはどうすれば良いかを考え模型を作成しました。模型は高い関心を集め、細部までじっくりご覧になられた方は「駅舎や木々など細かいところまでよくできている」と驚かれていましたし、東大宮駅周辺をよくご存知の方からは「本当にこうなったらいいわね」というコメントをいただきました。展示資料では『図説城下町都市』や、『人口減少×デザイン』が人気で、多くの方が手にしておられました。また、図書館ニューズレターOH! MY LIB CAFE最新号を含む4号分を配布したところこちらでも好評でした。

今回の「図書館と県民のつどい」を通し、本学の地域に密着したまちづくり活動に関心を抱いていただければ幸いです。

## 【人気のあった展示資料】

『図説城下町都市』 ISBN: 9784306073111

『人口減少×デザイン』 ISBN: 9784862762115



## ■城西大学

<芭蕉と江戸俳諧の世界>

本学は、創立者・初代理事長水田三喜男先生が提唱した「学問による人間形成」を建学の精神として、昭和40年に創設されました。

図書館では、建学の精神に基づく学士力・人間力の涵養に資することを目的として、古典文学の資料も蒐集しています。今回は所蔵の古典文学コレクションの中から、松尾芭蕉が活躍した江戸時代の俳諧に関する写本・板本を展示しました。また芭蕉の人物像をよりご理解いただけるよう、生涯をまとめた年表と共に、「奥の細道」の旅程と旅行の間に各地で詠った俳句をまとめた地図もご覧いただきました。

## 【主な展示資料】

- ・写本『奥の細道』
- ・板本『俳家奇人談』『本朝文鑑』『風俗文選』『芭蕉翁句解参考』『七部集大鑑』
- ・板本の比較資料として『俳諧珍本集』『俳諧文集』『風俗文選』
- ・参考資料『芭蕉七部集』『芭蕉辞典』『俳家奇人談』『新編芭蕉大成』『芭蕉全図譜』『俳諧大辞典』『芭蕉文集』『松尾芭蕉』『芭蕉講座 生涯と門弟』





## ■聖学院大学

＜宗教改革 500 年＞

1517 年 10 月 31 日は、ドイツ東部にあるヴィッテンベルク城教会の扉にマルティン・ルターが「95 箇条の提題」を張り出したとされる日で、それをきっかけとして宗教改革が始まったと言われています。2017 年は、500 年目を迎える記念すべき年でした。

キリスト教プロテスタントを基盤とした教育を行っております聖学院大学では、これを記念した行事を行いました。

総合図書館では、ルター訳聖書や宗教改革関連の書籍を展示しました。中でも、北ドイツの都市リューネブルクの出版者シュテルンが刊行した 1654 年版小型聖書は、細かな箔押し模様が装飾された総革装丁で、小口にも細かな模様があり、留め金つきの美装丁本で、皆様にご覧いただきたい貴重な資料です。

宗教改革というあまり一般の方に馴染みのない出来事をご紹介するため、「教えて！ルターくん」と題して、ルターくんと聖学院大学のキャラクター宮原聖子ちゃんとのやりとりを通じ、マルティン・ルターの功績をわかりやすく展示しました。

また、iPad を使用した「ルターくんクイズ」を用意し、見学者の方々がチャレンジすることにより、楽しみながら宗教改革に対する理解を深めていただきました。



## ■ものづくり大学

＜総合機械学科：ものづくりの科学・技術とアート・感性の融合＞

ものづくり大学製造学科は、これまで主に工業製品の製造に役立つ工学・技術・技能を教育・研究してきましたが、2018 年 4 月より総合機械学科と改称し、ものづくりの新たな価値の創造を目指して進化していきます。

今回はこれまでの活動の中から、これからのものづくりが展開してゆく方向のひとつとして「愉しさを与えるものづくり」をテーマに、科学・技術が感動体験（アート・感性）とどのように融合するのか、その現状を知り、将来像を考えていただける展示としました。展示した『バブルリング』、『鴨吐如雨露』等の現物や、素材の加工方法による見栄えや手触りの違いにじかに触れられるサンプル帳などは、多くの来場者の皆様に興味を持って楽しんでいただけたと感じました。

ものづくり大学図書館情報センターの蔵書からは、科学・技術とアートに関するもの、人間の感覚や感性に関するもの、ものと人のつながりを生み出す技術、および今後活躍するであろう先端技術などの書籍の一部を紹介させていただきました。展示した書籍は本学図書館情報センターホームページ内に一覧を掲載していますのでご覧ください。

